

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

管路分野のInnovative All in ワンストップ企業として、社会的使命を果たしつつ継続的に発展する企業を目指す。

設備投資額
27億円

② 中長期の経営戦略

1. OEM受託生産体制構築

クボタとの製造合併会社設立。小口径ダクタイル鉄管の生産能力増強で競争力強化。

3. デジタル基盤整備

Fracta-AI管路診断技術（2025年1月内閣総理大臣賞受賞）とDXソフト「だいさくくん」で管路更新全般に対応。

2. 脱炭素への転換

キュポラ炉から電気炉へ転換。2025年度稼働予定でカーボンニュートラル実現へ。

4. 新商品・工法開発

「楽ちゃく」「オセール」「KATANAバルブ」など施工効率化・非開削工法対応の商品群を拡販。

③ 対処すべき課題

① コア事業の収益力強化

- ・新商品・新分野開発と需要喚起
- ・製造コスト低減と品質向上
- ・人材育成と女性活躍推進

② 経営環境変化への対応

- ・管路老朽化進展への対応
- ・人口減少・工事担い手不足への課題解決
- ・管路更新全般へのビジネスモデル転換

③ 財務体力強化

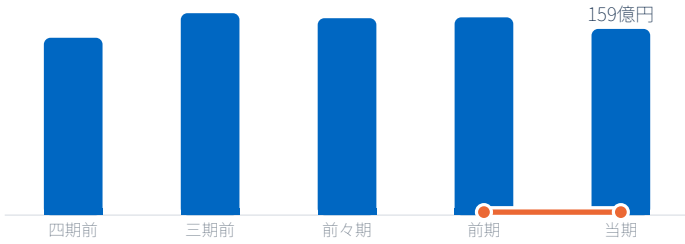
- ・収益改善施策の迅速実行
- ・着実な業績向上

面接で使えるポイント

- ・管路分野のAll in ワンストップ企業化により、従来の管供給から管路更新全般への事業転換を推進。
- ・Fracta-AI（2025年1月内閣総理大臣賞受賞）やドローン点検など、DX技術で社会インフラの課題解決に貢献。
- ・電気炉導入（2025年度稼働）やウォーターエイドへの寄付を通じ、カーボンニュートラルとSDGs達成を目指す。

証券コード 5612

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
鉄鋼業に属する上場企業

主力事業・セグメント

- ・ DuctileCastIronR 87.5%
- ・ プラスチックConduit・Ga 12.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 平均勤続20.0年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
159億円営業利益率
1.6%財務健康度
20点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 40.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
592万円
鉄鋼内 31位/38社平均年齢
46.1歳
鉄鋼内 3位/38社平均勤続
20.0年
鉄鋼内 7位/38社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本鑄鉄管(株)【5612】：決算情報

